

## 発達障害研究会の歴史

### 関係者の皆様

以下発達障害研究会の歴史を記載しております。ご参考までにご覧ください。

第一回 2011年2月9日 ケースの検討および大学院生の研究計画発表。

第二回 2011年5月26日 ケースの検討。

第三回 2011年6月23日 鏡山小学校教諭 松尾博史 先生  
LD学級の先生から学校における発達障がい支援の実際を伺いました。現場の工夫を実感しました。

第四回 2011年7月8日 東京大学保健管理センター 渡辺慶一郎 先生  
大学における発達障がい支援の実際についてお話を伺いました。個人の特性とおかれた環境に応じたきめ細かなサポートが印象に残りました。

第五回 2011年9月30日 北海道医療大学 金澤潤一郎 先生  
成人期のADHDに対するCBTのスペシャリストからお話を伺いました。

第六回 2011年10月26日 発達障害をもつ大人の会 DDAC 代表 広野ゆい 先生  
当事者の立場からのお話を伺いました。本人の困難さは計り知れないものがあることを痛感させられました。

第七回 2012年2月8日 龍谷大学短期大学部 藤木美奈子 先生  
DV被害者のグループ・ワークを中心にお話を伺いました。

第八回 2012年4月20日 奈良教育大学 根來秀樹 先生  
ADHDの臨床、研究の第一人者からお話を伺いました。

第九回 2012年6月22日 龍谷大学 郷式徹 先生  
「こころの理論」と「実行機能」を中心にお話を伺いました。「こころの理論」を端緒としてダイナミックな話が展開されました。

第十回 2013年7月5日 龍谷大学 理工学部 小堀聡 先生

## 発達障害研究会の歴史

知覚運動課題を用いた認知機能の評価ということで認知心理学と臨床心理学の接点を探る試みについてお話を伺いました。

第十一回 2013年12月18日 京都市児童福祉センター 門眞一郎 先生  
自ら実践しておられる PECS を中心にお話を伺いました。本だけでは得られない実際的なお話が興味深かったです。

第十二回 2013年10月30日 大阪大学 苧坂満里子先生  
ワーキングメモリーについてお話を伺いました。リーディングスパン・テストではワーキングメモリーの衰え(?)を実感しました。

第十三回 2014年2月6日 梅花女子大学心理こども学部心理学科 瀧本優子 先生  
SST (ソーシャルスキルトレーニング) についてお話を伺いました。

第十四回 2015年 浜松医科大学 精神科神経科 臨床心理士 中島陽大 先生  
「知的障害が疑われる強迫性障害に認知行動療法を用いた症例」

第十五回 2015年10月22日 龍谷大学 文学部 教授 河野淳子 先生  
「認知症高齢者の解釈 --- 語用論の視点から」

第十六回 2015年11月26日 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 実習助手・京都きょうだい会 松本理沙 先生

第十七回 2017年12月14日 京都少年鑑別所 精神科医 定本ゆきこ 先生  
「発達障害と矯正医療」

第一八回 2018年6月14日 一般社団法人ディスレクシア支援協会 代表理事 馬場信子 先生  
「ディスレクシアの子どもたち」

第十九回 2018年12月13日 京都工芸繊維大学 教授 藤川洋子 先生  
「発達障がいと犯罪」

## 発達障害研究会の歴史

発達障害研究会

代表：武田俊信

スタッフ（世話人）：田中駿亮